

◎近況報告◎

雅人

秋から冬にかけて、40日余りの青森研修。つるものとツとの出会いを新たな作品作りへと、意欲を燃然やす。心は元氣満々だけど、体は先心配。シラ曰く、「お父さん、あんまり食べすぎると爆発するよ。だから いっぱい食べたらだめ!!」 そうです。雅人さん 今年もダイエット! ダイエット! ネ。

楓子

シラの保育園入園と共に、結婚以来9年間妊娠、出産、育児という段階にひとくぎり。自分の為の時間がもてるようになり、昨年のむてきな奥さんから今年(はらあひ)ちきな奥さん目指して、自分みがきに はげまっもり。

クルム

小学2年生になり、いよいよ少年のドアを開きかけている。冬でも半袖半ズボン、靴下もはかず、かせもひかずの元氣者。運動会での駿足も光っていました。剣道七級。今年もがむはっちゃいます。

シラ

家庭での一人遊びに卒業。10月から保育園デビュー「寝るのかなー いやなんよなー」と言いながら、元気に毎日通ってます。現在4才20kg! 元氣がなにより!!

エリ子

突然、穴掘りに目覚めたエリー。14才になり「ボケたのかしら〜?」と疑いたくなるほどの勢いで地面に穴を掘りつづける。何が彼女をそうさせるのか? -なぜ- 「なので」。

シヤラ

日だまりのおひめ様。竹かごのベッドでいつも幸せそうです。「私も猫になりたい」とシヤラを見ながら唱えています。なかなかな猫になれそうもない。……にゃん。

もっちゃん 若んかっのま かいちんまふん



あけまして おめでとうございませう

あけまして おめでとうございませう

世間は「世紀末」と騒いでいるが、今年も我家は My pace!

1999年 今年も元氣に

あけまして おめでとうございませう
我家通信
ういっか
クルム著

(●ういっか●とは太古の言葉で、「内なるエネルギー」)

98年の火畑は……

前半はとて好調でした。ジャガイモはいつもより小ぶりでしたが半年分はありました。レタスも初めて種から育ちました。それにモチャカボチもかわいくできました。4月に仕込んだ味噌の半分は畑からとれた大豆で、秋頃から、毎日のみそ汁として食卓に登場しています。出来は上々(?)。そして、秋にはサツマ芋が収穫できました。菊刈りした中にサツマ芋を入れ、背いけむりの中で、迎える夕暮れ。火遊びは、こんな形だと楽しめるものです。子供もワクワクしながら燃える草ののぞきこみ、お芋の焼けるのを待っています。かゆ草の焼けるにおい、お芋のホカホカのゆげ。そして夕やけの光。こんな思い出を私も子供も自然からいただいた素敵きな夕暮れでした。アリアガトウ。

さて、現在の火畑は……小松菜とほうれん草が小さいまま冬も越えてしています。このまま春を待つ。春は共にグニーン大きくなる予定です。それから、芽を出せずにいたレタスの種が半年おくれで、芽を出して、小さな苗となっています。これもまた春の食卓をにぎわわせてくれることでしょう。今年も草刈りに はげまなせ!!

★98年 重大ニュース★

最大の出来事は、雅人さんの青森行きでした。「夕食は、お父さんと別々です」というご家庭の多い昨今。だけど我家は「お父さんのいなし、夕食は、年に何回?」と数えられるほど。4人が、そろっているのが、普通なので、こんなに長期間に渡り、お父さんがいなしのは初めて。それは、それは一大事!! 淋しいし、悪いし、クルムは、淋しさをグッとおじめ、それが夜に吹き出して、夜さけびとなり毎晩続きました。本人は寝込んでいて覚えていないのですが、毎晩大声においなし、(おっぱい)のクルムを着がえさせる私はもう大人。最後はハトハトで「早く帰ってこーい!!」と叫んでいました。そんな夜叫びも、お父さんが帰ったその日からピタッと止まりました。シラの顔も明るくなり「お父さん大好きな息子にかにまわった雅人さんはまたまた 幸せを 実感したのでした。そして家族は一緒にいなくては!」と、一人一人が心に強く感じた出来事でした。

こんなに大人な家庭内を知ってか知らずか、青森の雅人さんは、一人 青春をたどっていたのでした。一人で思う秋はもう去って (by 雅人) 25年前 私は「ふきのとう」の「白い冬」のメロディーを聞きながら、北海道を半年ほど放浪していました。今回青森にあけび(畑)の勉強に行った際、北海道まで足をのびしてみました。思い出すと48年 オルゴールの年、名古屋から函館まで、此行電車に乗って、初日の上野駅では、お父さんのおいなしに言い寄られ、不安な旅立ちでした。知り合いお父さん、なにもづくしの旅でしたが、多くの人に助けられ、多感な時期に、皆からいろんな励ましをいただきました。今回25年ぶりにア伊の友人と会うことができました。「もう2度と会えないだろう」と互いに思っていたのですが、友人が、「のんの(ア伊語で花)という名の女の子を つけていました。「この子とあなたの子供たちを未来で引き合わせるために今日 会えたんだネ」と言われた言葉が、とても印象的でした。また25年先に何って 素敵きな種まきが出来た旅でした — 雅人からの おみやげ 話し —